

300ケーブルありがとうございました。

やはり、300ケーブルには、不思議な魅力があります。

AO300から新しいAO-O-1000にするかどうか迷っていたのですが、やめることにしました。AO300とAO-O-1000単体だったら、買い換えるのですが、AO300+アンプと比較すると、AO300を300ケーブル接続で聞いた方が好みでした。ポタアン巡りをした後、AO100Ⅱ、AO300と最新型を追い求めてきたのですが、300ケーブルのおかげで好きな音を見つけていこうとする視点を育ててくれたような気がします。

さて、AO300+アンプにi00-Audio IE000000を接続し、00製作所N00-200(生産終了)に2.5cm バランスの300ケーブルでアンド000に接続し、当初は、AO300+アンプとi00-Audio IE000000の間に、購入したミニミニケーブルを接続しましたが、結果は、00製作所のミニミニケーブルとの違いが私の耳では余り分かりませんでした。ところが、i00-Audio IE000000の有無で、00製作所と300ケーブルとで聴き比べをしたら、驚くべき結果でした。

i00-Audio IE000000は一般的には、ヒスノイズを除去し、ダイナミックレンジを改善することによって、ヘッドフォンで音楽を聴く際の破滅的問題を解決します。IEM(イヤーマニター)とヘッドフォンの大半は、ボリュームレベルが半分程度の時でさえうるさすぎるので、音楽を聴く楽しみが常に削がれてしまいます。信号経路にi00-Audio IE000000を入れれば、もうそのようなことはなくなります。

ヘッドフォンやIEMがうるさすぎる時に、あるいはまた音源のヒスノイズが多い時に、i00-Audio IE000000を使用します。スマートフォンから航空機内の音楽装置、そしてパワフルなヘッドフォンアンプに至るまで、i00-Audio IE000000は音楽の楽しみ方を次のように改善します。

1. バックグラウンドノイズを大きく削減
2. ダイナミックレンジをさらに広げ、透明にする
3. ボリュームコントロールの範囲を広げる

どうすれば解決するのか？ i00-Audio IE000000をヘッドフォンとアンプの間に挿入してください。高感度または超高感度のどちらかに設定します。あとは座って音楽を楽しむだけです。

というように説明されていて、音質の劣化は多少あるものの、メリットの方が多いと説明されています。00製作所のN00-200との相性もあるかもしれませんが、00製作所のケーブルでi00-Audio IE000000の有無を聞いた時には、i00-

Audio IE〇〇〇〇〇を入れた方が、音がきれいと感じたのですが、300ケーブルで試してみると、i〇〇-Audio IE〇〇〇〇〇 を入れると、確かにノイズは消えるのですが、特におそらくA〇3〇〇の音の厚みというか深みというかそういうものが失われてしまって、カスカスになってしまうように感じてしまいました。

もともと、アンドロメダのホワイトノイズを消すために試行錯誤していたのですが、多少のノイズは残っても、i〇〇-Audio IE〇〇〇〇〇 なしで聴くようになりました。

記載したような i〇〇-Audio IE〇〇〇〇〇の利点、音質を変えずにノイズをなくすというようなことを、300ケーブルはそんなの無理かもと言っているようで、びっくりした次第です。

また、ミニミニも300ケーブルしたせいか分かりませんが、音に関してデリケートになりました。以前、接点保護剤と接点浄剤を分けていただきました。それにA〇〇〇〇〇〇〇〇 R〇〇〇〇〇〇の導通向上クリーナーを併用していますが、クリーニングしてもさほどの音の変化は感じませんでしたが、よく分かりませんが劇的に音の変化があり、塗った直後と数十時間後では随分違うかなと感じています。

相変わらず、このようなシステムでアニソンをハイレゾではなく通常音源で聴くのが、とても心地良いです。音は不思議だなと思うと同時に、自分の体の調子でも音の感じは変わるのではないかと思う日々です。いつも、同じ音源を聴いているのに、いろいろと発見できたり、疲れているとなんだかかすんで聞こえるし、音を出す側と音を聴く側とがしっかりマッチングしないと十分ではないのかな、このような環境に気づかされることこそ、300ケーブルの力かなと思います。驚きと発見の契機を与えてくれるケーブルだと思います。

300ケーブルの音質にも品質にも、十二分に満足をしています。素晴らしいの一言です。

拙い感想ですが、何かお伝えしなければと思い送信します。

ありがとうございます。

今後も、何か頼むかもしれませんがよろしく願います。